

令和 8 年 7 月 1 6 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

北海道		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
羅臼町立羅臼小学校	羅臼町教育委員会	公立
羅臼町立春松小学校	同上	同上
羅臼町立知床未来中学校	同上	同上

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
羅臼町立羅臼小学校	学校だよりにて公表
羅臼町立春松小学校	同上
羅臼町立知床未来中学校	同上

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
羅臼町立羅臼小学校	学校だよりにて公表	学校だよりにて公表
羅臼町立春松小学校	同上	同上
羅臼町立知床未来中学校	同上	同上

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

・ 一部、計画通り実施できていない

・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

・ 実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

知床半島は「海洋生態系と陸上生態系の相互関係の顕著な見本」(IUCN 評価結果より)であることが世界自然遺産として登録された理由の一つに挙げられている。

本特例は、「知床学(海洋教育)」を設置することにより、知床において、知床について学ぶ地域学習から出発し、知識の集積を超えて郷土知床を愛し生涯を通して知床と関わりをもって生きる人格を育てることを目標としている。

実際に、本特例を実施している羅臼小学校及び春松小学校においては、令和7年1月に行ったアンケート調査結果と令和5年2月に行った同様のアンケート調査結果を比較すると、「自分たちの力で羅臼の海を守っていく」という意識が高まっているというような成果が見られた。

また、知床未来中学校においては、上記のアンケートにおいて、「羅臼の海に生息する動植物の理解が深まった」「海・川・陸の連鎖について理解が深まった」「羅臼の海の産業(観光業等)について考えることができた」「羅臼の海の豊かさについて理解が深まった」と回答した生徒が増えたという成果が見られた。

一方で、羅臼小学校及び春松小学校においては、羅臼町の海に関する知識・理解を深め、一人一人が課題意識をもって探究的な学習を進めることができる教育課程を編成する必要があるという課題、中学校においては、生徒が自ら課題を設定し、ICT端末等を用いて多面的・多角的に情報を収集し、整理・分析、まとめ・表現を行う探究的な学習を中心とした教育課程を編成する必要があるという課題も指摘されているところである。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している羅臼小学校、春松小学校では、令和7年度全国学力・学習状況調査において、「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか」という設問に対して、「よくしていた」「ときどきしていた」と回答した児童の割合が、全国平均を上回っている。また、知床未来中学校では、同調査において、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、年々増加するという結果が出ており、「知床学(海洋教育)」の設置により、自然に親しむ態度や地域を愛する心を育てることについて、効果が上がっていることが明らかとなった。

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示すような課題を踏まえて、羅臼小学校及び春松小学校を統合し、新たに開校した知床未来小学校においては、羅臼町の海に関する知識・理解を一層深め、一人一人が課題意識をもって探究的な学習を進めることができるよう教育課程を編成するという方向で、

中学校においては、生徒が自ら課題を設定し、ＩＣＴ端末等を用いて多面的・多角的に情報を収集し、整理・分析、まとめ・表現を行う探究的な学習を中心とした教育課程を編成するという方向で本特例の改善を図ることが必要と考える。